

iKO Project

魅力ある学校づくり ～iKO プロジェクト～

計画と達成基準

中間達成状況と評価

1

生徒一人ひとりの進路実現

学ぶ力の育成と学力の向上
授業改善による教師力の向上
規律ある生活態度の育成

教務課

園芸科

進路課

家政科

生徒課

2

地域と連携したグローバル人材の育成

地域に学ぶ「総合的な学習の時間」「社会貢献活動」等の効果的活用によるキャリア教育の充実
英語教育の充実
コミュニケーション力・プレゼンテーション力(表現力)の向上

教務課

園芸科

進路課

家政科

地域連携

3

部活動・農業クラブ・家庭クラブ活動の活性化

活動時間の確保
指導体制づくり
積極的な情報発信

教務課

園芸科

生徒課

家政科

4

安全で安心な学校生活の創造

自主的な清掃活動
委員会活動の活性化
教育相談の充実

生徒課

厚生課

1 生徒一人ひとりの進路実現

学ぶ力の育成と学力の向上

担当(分掌)	具体的計画	今年度の達成基準(昨年度までの状況)	中間達成状況(9月末現在)	中間評価
教務課	普通科 ○成績不振等で学習意欲が低い生徒を喚起するため、学年途中での中間成績を算出し、該当生徒への学習指導や面談指導に役立てる。	○追認定考査受験者数の 減少 (昨年 のべ14)	第3回定期考査後に実施予定	
	専門科 ①基礎学力の定着を図るため、漢字テスト、 計算力テスト の年間平均点の目標を各クラスで掲げ、お互い励まし合いながら目標を達成する。 ②学習習慣の定着を図るため、昨年に引き続き、平日3回の生活実態調査を実施し、個々の学習時間のアップを目指す。	① 漢字テスト 昨年度の平均点を上回る平均を目標とする。 E1… 80点 K1… 90点 E2… 80点 (昨年76点) K2… 95点 (昨年93点) E3… 80点 (昨年78点) K3… 95点 (昨年94点) ② 計算力テスト 園芸科…60点, 家政科…80点	① 漢字テスト 平均点(8回) E1… 85.3点 K1… 89.4点 E2… 86.9点 K2… 98.4点 E3… 82.1点 K3… 96.0点 ※現在、K1が、目標平均点を若干下回っている。 ② 計算力テスト 平均点(8回) E1… 77.1点 K1… 89.5点 E2… 66.9点 K2… 96.4点 E3… 75.1点 K3… 95.1点 ※どのクラスも、目標平均点を維持している。 ③ 生活実態調査 第1回を 6月 に実施。第2回を 11月 に実施予定。	B
進路課	普通科 ①進路LHR、面談や集会等を通し学習の大切さを呼びかける。学習習慣(生活習慣)の定着を図るために、学習実態調査や学習計画表などを活用する。 ②3年間を見通した教科指導・進路指導をする。基礎学力を定着させるために、授業を基本として、土曜活用、補習、 休日の自習教室開放 等を活用する。	① 学習実態調査 ・1日の学習時間 2時間未満の生徒数 (3年2回調査) 1年 20名以下 2年 20名以下 3年 5時間以上の生徒を50%以上	① 学習実態調査 ・1日の学習時間 2時間未満の生徒数 1年： 1回16名, 2回34名 2年： 1回24名, 2回25名 ※休日に学習時間が減る。 3年 5時間以上の生徒数 44名 39.3% ※「4時間以上5時間未満」の生徒は42名と昨年より多く、平均時間は280分で昨年より5分多い。	B
		学校自己評価 「学習実態調査や土曜活用、SSTを通して学習習慣を確立させる指導がなされている。」 生徒評価指数 13以上 (昨年度：13.1)	学校自己評価 「学習実態調査や土曜活用、夏期学習会等を通して学習習慣が身についている。」 生徒評価指数 8.5	
	②1年生では、国公立大学に進学できる学力を持つ生徒(進研模試における 全国偏差値54以上)およびそれに続く層(全国偏差値50以上)を増やす。 2年生は 1年1月時の維持 を目標とする。	②1年 全国偏差値54以上 7月18名→ 全国偏差値50以上 7月32名→ 2年 全国偏差値54以上 1月20名→ 7月15名→ 全国偏差値50以上 1月34名→ 7月28名→ ※休日学習会(午後7回、全日5回)実施 3年生を中心に 平均20名程度参加 。		

授業改善による教師力の向上

担当(分掌)	具体的計画	今年度の達成基準(昨年度までの状況)	中間達成状況(9月末現在)	中間評価
教務課	普通科 ○教員相互の授業参観を活発にするため、 公開授業週間を設定 し、授業評価シートを活用する。	普通科 ○公開授業週間を 年2回 設定(期間は 1週間程度)。期間内の他の教員の授業参観 2回以上70%	普通科 ○公開授業週間 11/11～11/13 予定。現在までに2回以上の授業参観 51.4%	B
	専門科 ○ICT機器の活用促進ならびにICT機器がより容易に使用できる環境作り。	専門科 ○普通教室に新しく設置されたプロジェクターなどのICT機器を利用した授業が各教員 年1回以上実施 。	専門科 ○普通教室のプロジェクター使用の研修会を行い利用をよびかけた。その成果が徐々に見られる。	
進路課	専門科 ○ 適性検査の担任団及び生徒対象の評価講習会を開催し、今後の進路指導や進路選択に役立ててもら う。	専門科 ○ 進路課アンケート 評価講習会に参加し(よかった、とても良かった) 80%以上	専門科 <適性検査評価講習会> 1,2年…R-CAP 3年…クレペリンを実施 ○ 進路課アンケート 教員(5/29実施)とても良かった60%+良かった40%= 100% 生徒(6/4実施)1年 とても良かった40%+良かった60%= 100% 2年 とても良かった23%+良かった77%= 100%	B
	園芸科 ①相互の授業参観を行い、授業評価を行う。 ②ICTを活用した授業を行い、わかる授業を行う。	①外部講師授業を活用し、年間2回以上相互授業参加、参観を行う。 ② 専門学科生徒アンケート 「学習を助けるためのプリント、視聴覚教材を準備している」が「よくあてはまる」で 80%以上	①1学期は各自1回以上できた。 ② 専門学科生徒アンケート 「学習を助けるためのプリント、視聴覚教材を準備している」が「よくあてはまる」で 74.5%以上 。	
家政科	○ICT機器を活用した授業を行い、授業改善を図る。	○各自がICT機器を活用した授業を 2回以上 実践する。	○ICT機器を活用した授業を各自が 2回以上 行った。実物投影機で写真を見せると、細かなところも示せるのでわかりやすい。ICT機器を使用すると、生徒も授業に集中している。	B

規律ある生活態度の育成

担当(分掌)	具体的計画	今年度の達成基準(昨年度までの状況)	中間達成状況(9月末現在)	中間評価
教務課	専門科 ○ベル着の徹底と、始業ベルでの授業開始。	○ 授業評価アンケート 「あなたはベル着ができていますか」 85%以上 (昨年80%)	○ 授業評価アンケート 「あなたはベル着ができていますか」 85.7%	B
生徒課	①すすんで気持ちのよい挨拶をさせるため、挨拶週間などを決め実施する。 ②服装指導を徹底させるため、着こなし週間を決め実施し、しっかり声掛けをする。 ③遅刻数を減少させるため、遅刻の多い生徒は個人指導を実施する。 ④交通指導を徹底させるため、春・秋交通安全週間期間中・毎月10日に交通立ち番を実施する。	① 生徒課アンケート 「挨拶が自主的にできた」が、「とても出来た・出来た」で 80%以上 ② 生徒課アンケート 「制服がきちんと着こなせた」が、「[着こなせた]」で 80%以上 ③南北両校地合計500回以内 ④ 生徒課アンケート 「ルール・マナーを守ることができた」が、「[よく守れた、だいたい守れた]」で 80%以上	① 学校自己評価アンケート ●「よく出来た・出来た」 86% ② 学校自己評価アンケート ●「きちんと着こなせた・着こなせた」94.8% ③ 南北両校地合計 170回 ④ 学校自己評価アンケート ●「よく守れた・だいたい守れた」で95.6%	A
	園芸科	①授業の開始と終わりや実習(行事)時に気持ちの良い挨拶ができるよう指導する。 ②安全面に留意し、正しい服装・身だしなみで実習を行うように指導する。	① 専門学科生徒アンケート 「気持ちのいいあいさつができた」が「よくあてはまる」で 80%以上 ② 専門学科生徒アンケート 「実習時に服装・身だしなみを整えた」が「よくあてはまる」で 80%以上	
家政科	○全ての授業で、授業の準備を整えて始業までに着席させる。	○ 専門学科生徒アンケート 「授業の準備を整えて始業までに着席することができた」が「非常によくあてはまる」と「よくあてはまる」で 90%以上	○ 専門学科生徒アンケート 「授業の準備を整えて始業までに着席することができた」が「非常によくあてはまる」と「よくあてはまる」で 97.4%	B

2 地域と連携したグローバル人材の育成

地域に学ぶ「総合的な学習の時間」「社会貢献活動」等の効果的活用によるキャリア教育の充実

担当(分掌)	具体的計画	今年度の達成基準(昨年度までの状況)	中間達成状況(9月末現在)	中間評価
進路課	普通科 ○キャリア教育の一環として、外部講師を招いた諸行事および講演会等を企画する。「総合的な学習の時間」との連携を図る。	○ 学校自己評価 「LHR や説明会などで進路選択のための働きかけがなされている」 生徒評価指数 12 以上 (昨年: 13.0) 「出張講義などの行事は、進路選択に役立っている。」 生徒評価指数 12 以上 (昨年: 11.8)	○ 学校自己評価 「LHR や説明会などで進路選択のための働きかけがなされている」 生徒評価指数 11.4 (3年生は 12.7) 「出張講義などの行事は、進路選択に役立っている。」 生徒評価指数 10.5 1年生の指数が 8.0。2, 3年生はそれぞれ 11.8, 11.6。	B
家政科	○地域連携を図り、専門の学びを生かした活動を推進する。 ・ハッピーライフ講座 ・地域型福祉学習事業 ・井原デニムの研究 ・井原高校ふれ愛まつり	○ 専門学科生徒アンケート 「地域連携や専門の学びを生かした活動ができた」が「非常によくあてはまる」と「よくあてはまる」で 80%以上 。	○ 学校自己評価 ●「非常によくあてはまる」と「よくあてはまる」で 90.5% (3年生は 100%)	A

英語教育の充実

担当(分掌)	具体的計画	今年度の達成基準(昨年度までの状況)	中間達成状況(9月末現在)	中間評価
地域連携	①地域の中学生英語スピーチコンテストや国際交流行事への積極的な参加を呼びかける。 ②地域人材を活用し、生徒の英語コミュニケーション力の向上をはかり、各種コンテスト等に参加する。 ③地域や国際貢献について視野を広げる講演を実施する。	○ 学校自己評価 新項目の「学習した英語を用いて自らを表現できる機会を得ることができた。」 「非常にあてはまる」「よくあてはまる」で 80%以上 ○各種コンテストへの参加者が 増加する 。	○ 学校自己評価 「学習した英語を用いて自らを表現できる機会を得ることができた」 「非常にあてはまる」「よくあてはまる」で 46.6%以上 ○岡山県英語スピーチコンテスト1名、英語ディベートコンテスト6名出場予定 ○国際理解講座2講座を実施した。	B

コミュニケーション力・プレゼンテーション力(表現力)の向上

担当(分掌)	具体的計画	今年度の達成基準(昨年度までの状況)	中間達成状況(9月末現在)	中間評価
教務課	普通科 ①LHR やさわやかタイム等での言語活動の導入。 ②「言語活動の充実」に関わる校内研究授業の複数回実施。 全学科 ○授業や LHR での図書館利用の促進 専門科 ○総合的な学習の時間「いばらぶ」の内容の充実。 (1)地域についての見識を深める (2)自らの進路を考える (3)体験発表でのプレゼンテーション。	① さわやかタイムでの1分間スピーチ等の実施、ディベート LHR の実施 をすることができた ②校内研究授業の 複数回実施 することができた ○図書館を利用した LHR や授業数の増加 普通科 H25年 利用数1回 (H24年 0回) 専門科 H25年 利用数0回 (H24年 1回) ○ 専門学科生徒アンケート 新項目「ICT 機器などを用いながら自分の調べたことや意見を発表する機会がある。」評価指数 5.0 以上	普通科 ① 全学年とも金曜日にさわやかタイムで1分間スピーチを実施 。 ディベート LHR 実施… 3年(6/15) 2年(9/17) ②校内研究授業… 6/20 実施 ○図書館利用 専門科 9月末 来館者数 1164人、貸出冊数 1376冊 ○ 専門学科生徒アンケート 「ICT 機器を用いて、調べ学習や成果を表現する機会がある」評価指数 4.9	B
園芸科	○交流体験授業や各種行事の事前、事後指導の充実を図る。(教科間連携も活用する。)	○ 専門学科生徒アンケート 「行事や交流の準備を計画的に行い、実施後に反省・評価ができたか」が「できた」 80%以上	○ 専門学科生徒アンケート 「行事や交流の準備を計画的に行い、実施後に反省・評価ができたか」が「できた」 64.4%	C
家政科	○ホームプロジェクトの発表を行わせることで、プレゼンテーション力の向上を図る。	○各クラスで全員がホームプロジェクトの 発表を行う	ホームプロジェクトは夏季休業中の課題とし、9月に全員がクラス発表を行った。2・3年生はパワーポイントを使用して発表した。	B

3 部活動・農業クラブ・家庭クラブ活動の活性化

活動時間の確保

担当(分掌)	具体的計画	今年度の達成基準(昨年度までの状況)	中間達成状況(9月末現在)	中間評価
生徒課	①活動時間を守らせるため、下校校門指導を実施する。 ②部活動入部率を向上させるために、1年生に対して部活動紹介などを実施する。[県ベスト16以上を目標にする]	① 生徒課アンケート 「下校時刻が守れましたか」「守れた、だいたい守れた」が 80%以上 ②入部率 56%以上 (昨年 56.6%)	① 学校自己評価 「時間が守れた・だいたい守れた」で 95.8% ② 入部率 52.7%	B
園芸科	○役員会で行事運営に向けての計画、準備や次に繋がる反省を行う。	○定期的に役員会(年間5回)を実施する。	○行事前の役員会 (5回) を実施した (定期的にはできていない)。	B

指導体制づくり

担当(分掌)	具体的計画	今年度の達成基準(昨年度までの状況)	中間達成状況(9月末現在)	中間評価
園芸科	○各種競技, 大会運営および資格取得は, 教員2名で指導する。	○各種 県大会 競技で 2種目以上の入賞 。 ○専門資格取得 100%の合格 。	○園芸科 各種県大会4種目入賞 。 フラワーアレンジ：優秀賞／プロジェクト発表：最優秀賞／意見発表：優秀賞／測量：最優秀賞 ○専門資格取得 合格率 99% 機械系 合格42名／溶接系26名／装飾系6名合格	A
家政科	○家庭クラブ員の交流活動を活発にする。	○新規の交流活動を 1つ以上企画・実施 する。	○4月の新入生歓迎会で新企画を 2つ実施 した。	B

積極的な情報発信

担当(分掌)	具体的計画	今年度の達成基準(昨年度までの状況)	中間達成状況(9月末現在)	中間評価
教務課	①HPのリンクの整理や古いページの削除をさらに推進する。 ②他の教育機関(例：塾等)への情報発信を推進する。	① 最近の情報のみ見えるHP になる。 ②塾訪問, 塾との懇談会の 複数回実施 。	①ホームページの リニューアル実施 ② 進英ゼミナール 5/28, 8/28	B
生徒課	○ホームページ(部活動)を充実させるために, 各部顧問に働きかける。	○全部活動が 年間1回は活動内容を更新 する。	○現段階では、1部活のみのアップなので、年度末までにはすべての部が完了するよう依頼していく。	C
園芸科	① 農ク新聞の新規発行 ②Webページのアップと更新	① 農ク新聞(年間5回) を発行する。 ②Webページによる発信を 年間20回以上 行い、 学科ページを最新にできた 。	①前期で 1回発行 した。 ②Webページによる発信 11回 (9/30現在) 学科ページは、更新準備中。	B

4 安全で安心な学校生活の創造

自主的な清掃活動

担当(分掌)	具体的計画	今年度の達成基準(昨年度までの状況)	中間達成状況(9月末現在)	中間評価
厚生課	<p>①美しい学校づくりのために、生徒・教職員全員で時間いっぱい清掃活動に取り組む。</p> <p>②生徒状況アンケートを実施し、清掃重点箇所を把握し、清掃活動に活かす。</p>	<p>① 学校自己評価 「生徒が清掃活動に主体的に取り組んでいる」 生徒評価指数 9.0以上 (昨年 8.6) 「校内は清掃が行き届いておりきれいな状態である」 生徒評価指数 8.5以上 (昨年 6.7)</p> <p>② 生徒状況アンケート 「清掃重点箇所を把握できた」 「できた」 80%以上</p>	<p>① 学校自己評価 「生徒が主体的に清掃活動に取り組んでいる」 生徒評価指数 9.2 「校内は清掃が行き届いており、きれいな状態である」 生徒評価指数 5.3 ※南校地生徒の評価指数が低い。検証が必要。</p> <p>②厚生委員会による清掃場所と清掃道具の点検実施</p>	B

委員会活動の活性化

担当(分掌)	具体的計画	今年度の達成基準(昨年度までの状況)	中間達成状況(9月末現在)	中間評価
生徒課	<p>○生徒会・各部・各種委員会活動を活性化させるために、期間を決めてあいさつ運動を実施する。 [体育祭・いろは祭を盛り上げる][あいさつ運動などに積極的に参加する]</p>	<p>○ 生徒課アンケート 「行事に対し積極的に参加できた」 「たいへん出来た・出来た」が 80%以上</p>	<p>○年度初めに1年間の計画を立てて実施している。(計画通り) ○生徒課アンケートは3学期後半に実施する。</p>	B
厚生課	<p>○委員会活動を活性化させる。 ・厚生委員会 清掃活動を充実に向けた取り組みを実施する。(学期1回の清掃用具の点検、清掃状況の点検、清掃ボランティア参加の呼びかけなど、校内外美化活動の充実) ・保健委員会 健康,安全についての理解を深めるため保健便りを当番制で月1回発行する。 ・生活委員会(南校地) 教室の掲示物の整美,購買の美化に努める。</p>	<p>○生徒が活躍できる場を設定。 ・学期に1回委員会を開催できた。 ・保健便りを月1回発行できた。</p>	<p>○委員会活動 ・厚生委員会 学期1回の清掃用具の点検,清掃状況の点検,清掃ボランティア参加,ゴミ分別当番,募金活動 ・保健委員会 保健便りを月1回発行,いろは祭展示 ・生活委員会(南校地) 教室掲示物の整美,購買の美化</p>	B

教育相談の充実

担当(分掌)	具体的計画	今年度の達成基準(昨年度までの状況)	中間達成状況(9月末現在)	中間評価
厚生課	<p>①日常の変化を見逃さず、教員全員で生徒を支援できるような体制を整えるために、気づきシートを導入し、教育相談係連絡会議を実施する。</p> <p>②生徒面談に役立てるよう、教育相談(面談)の手法に関する教員研修を実施する。</p>	<p>① 気づきシートを導入できた。 ・教育相談連絡会を月1回実施し、情報を共有できた。 ・緊急対応を行うケース会議を必要に応じ実施できた。</p> <p>②教員研修を充実させ、参加者アンケート満足度 95%以上(昨年度 95%)</p>	<p>① 気づきシート活用 ・教育相談連絡会を月1回実施し、情報を共有 ・ソーシャルスクールワーカー含めたケース会議</p> <p>②教員研修の満足度 100%(よかった 88%+だいたいよかった 12%)</p>	B